

小学部4年生では、社会科の「水はどこから」の学習で、水はどこで作られて家庭まで届き、使い終わった水はどうなるのかを学習しました。

5月21日に毎日学校で使っている水を調べるため、学校の水の施設を見学しました。学校では、給水車が来てタンクに貯水して使っていることがわかりました。

5月30日には地下水くみ上げ施設の見学に行きました。地下230mの井戸から水を取り、消毒して水道管で家庭に送っていることがわかりました。

6月27日にはペプシコーラの工場に見学に行きました。機械化されて次々と作られるガラフオン水を見た児童は、びっくりしていました。

そして7月1日に下水処理施設へ見学に行きました。薬は使わずにバクテリアと空気のおかげで、水をきれいにして、工場や街路樹の散水に使っていることを知りました。

子どもたちは、普段の生活で何気なく使っている水が、こんなにも手がかかっていることを学び、水を大切にしようという気持ちをもつことができました。

